

令和4年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立吉田特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立吉田特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	176人

1. 使用状況

寄贈物品名	長胴太鼓 [十字平置台、和太鼓用バチ]
使用学年及び人数	小学部3～5年生 30人
使用頻度	音楽室、体育館
使用状況	地域の小山城太鼓保存会会長で和太鼓の名人をボランティア先生に迎え、太鼓の演奏を披露してもらったり、たたき方を教えてもらったりしています。「J」×「J」や「J」×「J」など、縁をたたく練習も行っています。音楽の時間にも、練習を重ね、12月の音楽発表会に向けて、ミッキーマウスマーチの曲に合わせて演奏の練習をしています。
物品の使用による変化や効果	回を重ねるごとに「かまえ」や「交互にたたく」、「たたいたら上にあげる」、「縁をたたく」などのたたき方が分かり、力強く音を鳴らす姿が見られるようになりました。今までリズム関係なくたたいていた児童が、周りの揃う音を聴いてリズムに合わせて打とうとする姿も見られるようになってきました。また、太鼓の響きをたたく手の反対の手で感じ取ろうとする児童も見られました。体育館全体に音が響く、余韻を楽しみ、もっと和太鼓をやりたいと思う児童が増えました。
今後の活用の見通しや課題	3、4年生が1月から音楽鑑賞で「郷土の音楽」で和太鼓を取り扱います。この音は何の音？とクイズを楽しみながら和太鼓の音に慣れ、どちらが和太鼓の音かわかるようになっていたり、CDの曲に合わせて教師が和太鼓をたたいてたりして、和太鼓に興味を抱くように取り組んでいきます。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子

